

平成 21 年 9 月 16 日

各 位

東邦ホールディングス株式会社
代表取締役社長 濱田 矩男
(東証第一部 コード番号 8129)
問合せ先
執行役員コーポレート・コミュニケーション室長
加藤 勝哉
(TEL 03-5259-9520)

国立大学法人東京大学との共同研究についてのお知らせ

当社および東邦薬品㈱(当社連結子会社)、㈱エトス(当社連結孫会社)3社は、国立大学法人東京大学(東京都文京区本郷、総長:濱田純一、以下東京大学)と薬局内で惹起する様々な事例・医療消費者のニーズ情報(具体例としてヒヤリハット・トラブル事例等)を収集、評価・解析するシステムの開発、医薬品の市販後調査を高効率に展開するシステムの開発を目的とした共同研究を本年10月1日より実施することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 共同研究の趣旨

医薬品が次々上市され、医薬分業が進展する中で、医薬品の適正使用・育薬と医療安全の推進が極めて重要な課題です。市販後の諸問題(医薬品が関係したトラブル、医薬品に対するニーズ)を的確に捉え、医療現場にフィードバックすること、製薬現場に対して、製品を改良したり、医薬品情報を改訂するなどの提案を行うことが重要です。医薬品流通現場において、市販後の諸問題を捉える担い手として、医師、薬剤師ならびに医療従事者との接点をもつMS(営業担当者:Marketing Specialist)の果たす役割が大きいと考えられ、東京大学と東邦ホールディングス、東邦薬品、エトス3社により、新しいオリジナルなシステムを構築することを目的とした共同研究を実施することとしたものです。

2. 共同研究の内容

- (1) 医療現場で惹起する事例等をグループ薬局内のイントラネット基盤で能動的に情報収集し、これら情報素材を評価・解析し、フィードバックするシステムの開発。
- (2) 医療現場において、MSと医療従事者のより強固な連携を実現させ、医薬品の市販後調査を高効率で展開できるシステムの開発。
- (3) 東邦グループから3名の研究員を「東京大学大学院情報学環薬学系研究科医薬品情報学講座」へ派遣いたします。

以 上